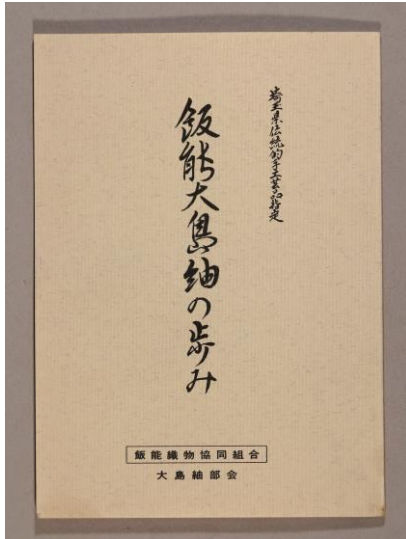


飯能大島紬(はんのおおしまつむぎ)の歩み



『飯能大島紬の歩み』は、飯能大島紬と飯能織物協同組合大島紬部の歴史を活字に残し、後世に伝えるために刊行された小冊子です。飯能大島紬は、製品としては村山大島紬と同じものです。飯能市域は大正時代の中頃に、村山大島紬を織り集散地である東京の武蔵村山に出荷する機屋(はたや)が出現し、その後、産地となりました。

飯能大島紬の名は、昭和52(1977)年にブランド化と産地のイメージアップを図るために、産地名を冠して以来のものです。